



こども相談室だより

No. 16

平成30年12月発行

こんにちは。
「こども相談室だより」第16号を発行します。
今回は「があたく」について考えます。

発行元
長野市こども未来部
こども相談室
TEL 026-224-7849



があたくの教え



長野ではきかん坊のことや、その行為をさして「があたく」と言います。お子さんが「があたく」とまでは言えなくても、子育てをしていると、「もうちょっと、親の言うことをきいてくれたら」と思う場面はよくあるのではないのでしょうか。

～「があたく」から学ぶこと～

「があたく」な子どもをもつと、親は日々の生活を回していくことに苦勞するものですが、その代わりに、「子どもというものは、思い通りにはならないものだ」ということを学んでいるのだと思います。



例えば、桃太郎が鬼ヶ島に行きたいと言い出した時、おじいさんとおばあさんにできることは、鬼ヶ島に行くのを止めることではなく、きび団子を持たせて快く送り出すことだと桃太郎を育てる中で学んでいたのではないかと思います。

～聞き分けのよい子どもから学ぶこと～

反対に、素直で聞き分けのよい子どもを育てるということは、親にとって、日々の生活を思ったように運ぶことができるかもしれません。そのような生活から親が学ぶことは、「私の言うことを聞いていれば、子どもはうまくいく」という成功の法則でしょう。

この法則は、小さい頃はうまく回っているかのように見えますが、子どもが成長し「自分とはいかなる人間であるか」「自分はどう生きたいのか」という問いをもった時に、反旗をひるがえされる場合がよくあります。「私の言うことを聞いていれば、子どもはうまくいく」という成功の法則を捨てる時が来たのかもしれない。



なかなかうまく回っていかない日常生活の中から、「子どもには思いや願いがあり、欲求があり、人生があるのだ」ということを、親が子どもから学べるとしたら、それは「があたく」の教えと言えるでしょう。

そうは言っても、「があたく」は大変

育児の真っ最中は、日々の子どもの「があたく」な行動を許せる心境になれないということは当然です。養育者のイライラは、子どものどんな行動から引き起こされるのでしょうか。

話を聞いていない時、反抗的な時、行動が遅い時、大人が言ったようにしない時等は大人を悩ませるでしょう。そのような行動をきっかけに、カーッと頭に血が上るような体験は、多くの大人が経験していることと思います。

しかし、衝動のままに子どもを叱りつけてみても、何度でも同じような状況は繰り返され、いずれは大人が怒る言葉を聞いても、子どもは、反応しなくなります。それでも熱心に子どもを何とかしようと怒り続け、虐待のような関係性が築かれることもあります。そのようになる前に、あるいはなってしまうとすればなおさら、立ち止まって考えてみたいところです。



～ 子どもは、なぜ話を聞いていないのか ～

第一段階は、子どもが別の何かに集中していて、言葉が耳に入らない。この段階であれば、近くに寄って、トントンと肩を叩いて注意を引く。また、子どもが集中している対象に向けられた注意を遮断（テレビを消すなど）することで話を聞いてもらえるでしょう。

第二段階は、期待される行動に加えて、小言が多いために、聞きたくないという段階。これに対しては、具体的で肯定的、短い言葉で用件を伝えることが有効です。そして、子どもが悪いことやいたずらをしていない時、普通の時に声をかけることを意識することで、親子の関係性は徐々に改善していくでしょう。

～ 大人はどうして頭に血が上るのか ～

頭に血が上る背景には、子どもを思い通りにしたいという大人の願いや、子どもを誰かと比較する習慣が隠れていることがあります。そのようなご家族は、子どもに対しての責任感が人一倍強いのかもかもしれません。

どうしても頭に血が上る時には、親自身が抱えたコンプレックスや達成されなかった願い、傷つきを背景としている場合もあります。誰にも言えない思いを話してみたい時には、こども相談室の相談をご利用ください。



家族は大切な存在です。特に小さいうちは、子どもにとって親は切っても切り離せない関係です。子どもは育つに従い、家族以外の様々な大人や他の子ども達と出会い、たくさんの価値観や体験に触れて影響を受けていくものです。そして、他者からの影響を受けて学んだり傷ついたり、感動したりする子を、家族は見守り、時に助けが必要なら寄り添うというスタンスに変化することが必要なのでしょう。

そのような子育ての過程で、保護者自身が子どもを取り巻く多くの人達を信頼することができれば、本当に素敵なことだと思います。子どもを取り巻く大人にとって、子育てという人生の局面が多く喜びと出会い、学びと感動に満ちていることを願っています。

